

【4月中の家庭学習の内容】



◎国語

(1) 教科書「えんぴつとなかよし」

〈ねらい〉

- ★鉛筆の正しい持ち方を学ぶ。
- ★学習する際の姿勢を学ぶ。



ご不明な点がありましたら、遠慮なくご連絡ください。

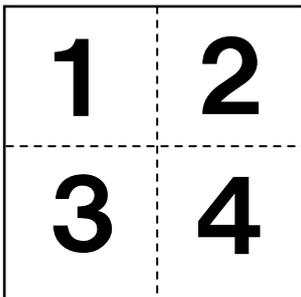
- ①教科書P14を読んであげてください。(唱え歌になっています。)
- ②唱え歌を唱えながら、正しい姿勢を教えてあげてください。
- ③正しい鉛筆の持ち方や姿勢に気を付けて、P14、15の挿絵をなぞる。(運筆練習)

(2) 教科書「うたに あわせて あいうえお」

〈ねらい〉

- ★口の形に気を付けて(教科書の写真を参考に)、明るく、はっきりとした声で音読する。
- ★書き順と形に気を付けて、平仮名の練習をする。(20文字)

- ①P22～24の短文を、読んであげてください。
- ②P22～24の短文を、たくさん音読する。(1日1回)
- ③P22～24の「あ、い、う、え、お」の文字を指でなぞる。(5回ずつ)
- ④P25のマスに、「あ、い、う、え、お」を練習する。



学校で指導する際、マスには1番、2番、3番、4番の名前を付けています。書き始めと終わりの位置を、このマスの番号で意識しながら書くと、正しく形の良い文字を書くことができるようになります。「とめる」「はねる」「はらう」の言葉や、「まっすぐ」「ななめに」「まるめるように」などと、言葉を加えながら練習させてあげてください。

(3) ひらがなの練習・・・おうちにあるノートに、平仮名の練習をさせてください。

あ、い、う、え、お、つ、く、し、て、へ、い、り、こ、に、た、の、う、ひ、と、ん

- ・参考：縦6マス～8マスの大きさ
- ・上記にある20文字の平仮名を、1日1～2個ずつ、一つの平仮名につき、10～15回
- ・急がず、ゆっくりと丁寧に書く練習をさせます。丁寧に書けたら、花丸を挙げてください。一生懸命に取り組むお子さんの気持ちを大事に、励ましながら取り組んでくださるようお願いいたします。
- ・書写の教科書P10, 11, 12, 15に、いくつかの平仮名の書き方が掲載されています。

◎算数

(1) 教科書P3～5

<ねらい>

★数が同じ、多い、少ないなどの意味を理解する。

- ①P3 コアラと傘を、1つずつ線をつなく。→ 傘が余る。→ 傘の方が多い。
- ②P3 うさぎと一輪車を、1つずつ線をつなく。→ 一輪車が足りない。→ 一輪車が少ない。
- ③P4 くまとイスを、1つずつ線をつなく。→ イスが余る。→ イスが多い。
- ④P5 チョウと花を、1つずつ線をつなく。→ 花が余る。→ 花が多い。
・数を1, 2, 3・・・と数える方法や、P4, 5ではブロックを置いて間接的に比べる方法もあるのですが、ここでは、ものともとの線をつなぎ、「余った方が多い」「足りない方が少ない。」と、とらえる方法を説明しています。

(2) 教科書P6～9

<ねらい>

★1～5個のものを数える。

★1～5の数字の書き方を理解する。

- ①P6～7の絵を見て、同じ数のなかまを見つける。
 - ・「1」「いち」のもの・・・時計 オルガン 先生 テレビ 黒板
 - ・「2」「に」のもの・・・黒板けし ボール ごみばこ
 - ・「3」「さん」のもの・・・鉛筆 きつね じょうろ
 - ・「4」「し」のもの・・・ふでばこ 机 ふくろ イス
 - ・「5」「ご」のもの・・・ランドセル 帽子 花かざり

②P8 1～5までの数を数えて、○に色を塗る。

③P9 1～5までの数字を書く。

- ・書き始めと終わりや、書く向き、点線を意識させると、上手に書けるようになります。
- ・おうちにあるノートに、1～5までの数字をたくさん練習する。(1日1回)

